

岐阜大学教育学部附属小中学校で防災講座を行いました

令和8年10月6日（火）、岐阜大学教育学部附属小中学校で4年生92名に防災講座を行いました。学校は長良川と木曽川に挟まれた場所に位置し、近くを新荒田川が流れています。

講座では、岐阜市でも被害のあった伊勢湾台風、今年で発生から50年が経過した9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害や令和8年8月千葉豪雨、令和8年9月名古屋市の大雨、台風25号を学習しました。浸水疑似体験映像、土石流などの映像には驚きの声上がり、水害の恐ろしさや避難について理解を深めました。

最後には、「レベル4になったらすぐに逃げたり、台風が来る前に避難所を家族と決めておきたい。」「非常食・水とかを用意したい。」など児童の感想がありました。

また、どのクラスも積極的な講座への参加と活発な意見が上がり、「水害が起きた時、逃げる前に何を用意したらいいか?」「レベル4で避難するのは分かったけど、レベル3は出るのか?」などの質問もありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中京テレビに取材頂きました。

